

連作が多くて、いずれも連作障害を多発したが、それは当然のことで、水田転作といえども畑作と同様の輪作確立と、『高品質の安価

安全食品の安定供給』こそ最大の使命と受止めて行動すべきである。(以下・次号につづく)

読者投稿らん

良質の種子いも供給を!!

——ある栽培農家の声——

あるポテトチップスメーカーとの馬鈴薯の契約栽培を手がけてから、今年で四年目になります。一反ほどの水田と三反余りの畑の播種から収穫までの一切を、私と家内の二人っきりで担当しています。

水田の方は別にして、三反余りの畑作については、契約栽培をはじめまでは、毎年、何を植えようかと、前年の相場やら、その年の長期の天気予報などを参考に、いろいろと考えはするものの、いざ植付作物を決定するまでには、二人で、悩んだものでした。また、年によって、最後まで、私と家内との植付希望作物が合致せず、ついには播種期を逃してしまったこともありましたが、それにもまして困っていたことは、その年、その時期で収穫作物の売れる価格が異なり、売上予定、入金計画が立て難いということでした。

このような折、ある日の部落懇談会の席上で、世話役の方から、ポテトチップスの原料にする馬鈴薯の栽培、それも契約栽培をしてみないかとお話

が、メーカーから直接、農協の方にきているが、希望はないかとの話が出ました。隣り町で農協が中になった、昨年やってみたところ、反収一〇万円になったとのこと、しかも、買上価格は毎年、十一月から十二月に会社の方から発表されるため、生産者は、馬鈴薯の植付期の三月までに考え、予算を立ててから申し込めばよいが、量的に多く必要で、一カ所一グループで最低20tはつくってほしいので、十人位のグループで、一緒にやってみないかというわけでした。

私としては、第一にメーカーから直接、農協に依頼して来ているということに、注目いたしました。さらに聞くところによると、決済も現金、堅い会社で昨年試行した隣町でも、今年は三倍の申込みがあるということでした。

帰宅後、家内とも相談して、とりあえず、一反ほどやってみようかということになりました。数日後の会合で、私もグループのうち、この馬鈴薯契約栽培をやってみようという人が十二名になり、各々、希望面積を集計しましたところ、一・五haになりました。早速、農協に連絡し、メーカーから契約栽培の説明にきてもらいました。

このようなキツカケで、それまで一度も栽培したことがなかった馬鈴薯でしたが、メーカー・農協からのよき指導、よき資料のもとに、一年目は反収二・八t、二年目一・五t——この年は天候不順で低収——、三年目三・二tとまあまあ収量をいただきました。話の通り、金銭関係のトラブルもなく、他作物に比し作りやすく、手間もあまりいらないうことで、毎年、植付け、今年も四回目の植付けをし、今日にいたっています。

一反歩の畑に馬鈴薯を植付け、その生育をみながら、そのときどきに必要な作業をメーカーから配布される作業基準に従って実行しているのですが、最近になって、初めた頃とはちがった畑の現象に気づきました。それは、畑のどの部分にも同じように肥料をまき、同じ作業をしているのですが、ところどころの株の生育が悪く、その葉は他のよいところの葉のように、ピンシとは伸びていませんし、葉の色もあせて、巻いたようになっていきます。畑全体をみると、この部分だけ草丈も低いのです。

昨年全体的の一割位の株がこのような状態になっていたもので、農協の指導員に聞いたところ「連作による障害が出てきているかもしれないので、次は畑を変えた方がよい」とのことでした。さらに、収穫のときに気づいたのですが、このような状態のところのいも収量は、他の正常なところと比較して、少ないということです。株によっては、ほとんど規格品がなく、一〜二個しかとれない株もありました。

指導員の指導に従い、今年は馬鈴薯を植えたことのない畑に植付けたのですが、以前にもまして全体の約三割位の株が、ところどころですが、このような状態になってしまっております。そこで、改良普及所の野菜担当の先生に連絡して、畑をみていただいたところ、「これは、ハマキ病というバイラスによる病気で、種いもが原因であり、消毒しても効かない」とのことでした。また「野菜の種子が悪かったときには、種子代を弁償してもらえなければならない、馬鈴薯の種いもは、国の検査をパスしているもので、事故の保障はなかなかむずかしいよ」ともいわれました。

私どもは毎年、合格証のついた種子いもを購入して、馬鈴薯を植付けているのに、なぜ悪い種子いもが混入しているのでしょうか。馬鈴薯の種いもの検査はどうなっているのか、詳しいことはわかりませんが、ここ数年、馬鈴薯の作付けが大衆化するにつれて、大量の不良種子いもが出まわっているのではないのでしょうか。私どもの収量が悪いというだけで済まされないような、大きな問題になる前に、関係各部署での適切な対応を切望いたします。私たちは、「よい種子いもを供給して下さい」と、叫んでいるのです。

(北海道・日生)